

ぐりとぐら ★

なかがわりえこ 文、おおむらゆりこ 絵 福音館書店



のねずみのぐりとぐらはとてもなかよし。
お料理を食べることが大好きなふたりが、おおきなたまごを見つけました。
さあ何をつくるのでしょうか？

三びきのやぎのがらがらどん

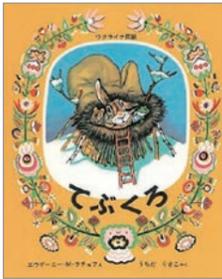
マーシャ・ブラウン 絵、せたていじ 訳 福音館書店



やぎのがらがらどんが、くりかえしトロールに立ちむかってゆく。
子どもたちは大好きです。

てぶくろ

エウゲーニー・M・ラチョフ 絵、うちだりさこ 訳 福音館書店



雪の森に落ちているてぶくろ。
くいしんぼねずみに続き「私もいれて」と森の動物たちが次々とてぶくろの中へ。
てぶくろは、はじけそう。
テンポ良い語り口と動物たちの表情が楽しい絵本。

おだんごぱん

せたていじ 訳、わきたかず 絵 福音館書店



ある日、おばあさんがおだんごぱんをつくりました。
食べられるのがいやなおだんごぱんは、にげだしました!!

かいじゅうたちのいるところ

モーリス・センダック 作、じんぐうてるお 訳 富山房



ママにしかられて、マックスがたどりついたのは、黄色い目玉のかいじゅうたちのいるところ。
どんどんマックスの想像がふくらんで、絵本の画面も見開き一杯に!

いっすんぼうし

いしいももこ 文、あきのふく 絵 福音館書店



いっすんぼうしは、からだは小さくとも、大きなぞみを抱いて旅立ちます。
愛してくれる人たちに支えられ、勇気をもって道を切り開きました。童謡でも歌われているお話です。
やわらかで華やかな日本画で楽しみましょう。

ことばあそびうた ★

谷川俊太郎 詩、瀬川康男 絵 福音館書店



「かっぱかっぱらった
かっぱらっぱかっぱらった
とってちった」

詩ってこんなに面白いの？ことばのリズム楽しいな。親子でぜひ声に出して読んでほしい本。

京都市図書館では、子どもの読書活動の推進について、関係団体の皆様と『子どもの読書活動推進のための懇談会』を設け、協議しています。
平成13年12月、「子どもの読書活動の推進に関する法律」が制定されたことを記念して、平成14年4月に子どものためのブックリスト「本のもり」を作成しました。
このリストには、図書館や書店・子ども文庫で出会ってほしい本を、各年代別に30冊選びました。このブックリストが、子どもが本を読みきっかけになれば幸いです。 令和7年3月

子どもの読書活動推進のための懇談会
・京都市小学校図書館研究会 ・京都市立中学校教育研究会図書館教育部会
・京都市PTA連絡協議会 ・京都市子ども文庫連絡会 ・京都府書店商業組合
・京都市私立幼稚園協会 ・京都市保育園連盟 ・こどもみらい館子育て図書館
・京都市教育委員会 ・(公財)京都市生涯学習振興財団

問い合わせ先：(公財)京都市生涯学習振興財団 総務課企画係(京都市図書館担当)
電話 075-802-3145

ブックリスト

本のもり

幼児編

少し長いお話も、一緒に読んだ楽しい時間はかけがえのないものです。この年代ならではの物語を。

全(種)は15冊
カラーのリスト

★シリーズあり

あおくんときいろちゃん

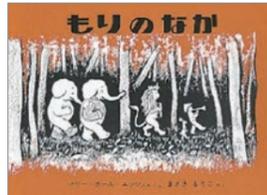
レオ・レオーニ 作、藤田圭雄 訳 至光社



あおくんときいろちゃんはとてもなかよし。
ある日、あんまりなかよしすぎてとうとうみどりになってしまいました。
こまったな…。

もりのなか

マリー・ホール・エッツ 文／絵、まさきりこ 訳 福音館書店



一人で散歩にでかけたぼくは、森で動物たちに出会います。動物たちはぼくの散歩についてきて…。
いかにも動物がひそんでいそうな森を鉛筆だけで効果的に描いています。

14ひきのあさごはん ★

いわむらかずお 作 童心社



10匹の子どもねずみたちを中心に、三世代の大家族の日常生活を描くシリーズ作。
細かく描き込まれた14匹のねずみたちの世界に、大人も子どももひきこまれるでしょう。

いたずらきかんしゃ ちゅうちゅう

バージニア・リー・バートン 文／絵、むらおかはなこ 訳 福音館書店



ちいさなきかんしゃちゅうちゅうは、人をのせたり荷物をはこんだりと大忙し。こんなことしているからはやくはしれないんだと思い、ひとりであつてに走りだしました。

おおきなかぶ

A・トルストイ 再話、内田莉莎子 訳、佐藤忠良 画 福音館書店



おじいさんが、かぶのたねをまきました。
やがてそれは、おおきなかぶとなり…。

どろんこハリー ★

ジーン・ジオン 文、マーガレット・ブロイ・グレアム 絵 わたなべしげお 訳 福音館書店



ハリーはおふろがだいきらいな犬です。おふろのブラシをくわえてにげだしたときから、ハリーのぼうけん(?)がはじまります。

からすのパンやさん ★

かこさとし 文／絵 偕成社



からすのパンやさんに、4羽のあかちゃんがうまれました。
やがて子どもたちがしごとをてつたうようになり、いろんなパンができていきます。
みんなの好きなパン、あるとうれしいね。

わたしのワンピース

にしまきかよ 文／絵 こぐま社



まっ白なワンピースでおでかけしましょう。
お花のもよう、水玉もよう、いろいろなもようにかわっていきます。
「わたしに にあうかしら」

はじめてのおつかい

筒井頼子 作、林明子 絵 福音館書店



みいちゃんは、100えんだまを2つにぎりしめて、はじめてのおつかいに出かけます。
うまっておかいものできるかな？

だいくとおにろく

松居直 再話、赤羽末吉 画 福音館書店



流れのはやい大きな川。
大工がその川に橋をかけることになりました。
川の中から鬼がでてきて、「めだまをくれるなら橋をかけてやる」といいますが…。

しろくまちゃんのほっとけーき

わかやまけん 作 こぐま社



くまのこどもがほっとけーきをつくりまします。
卵、牛乳、小麦粉、砂糖…
さあじょうずにほっとけーきがやけるかな？
いいにおいがしてきたらできあがり。

おやすみなさいコッコさん

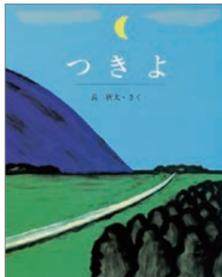
片山健 作／絵 福音館書店



もう夜です。
おや、まだねむっていない子どもがいますよ。
「さあ、はやくおやすみ…」
お月さまはやさしい声でささやきます。

つきよ

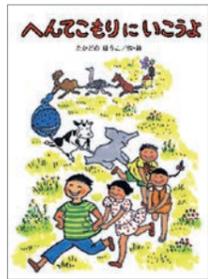
長新太 作 教育画劇



たぬきはかえりみち、つきをみて、おなかをきゅうっとつかんでしまいました。
だって、つきがやまをすべりおりてきたんですから。

へんてこもりにいこうよ

たかどのほうこ 作／絵 偕成社



そらいろようちえんのうらに“へんてこもり”という森があります。
幼稚園をぬけ出した四人の子どもたちは、その森でふしぎなことに会います。

かぜのこもりうた

くどうなおこ 詩、あべ弘士 絵 童話屋



ぞうのぼうやがまいごになった。
不安がぼうやをつつみこむ。
そのとき、たしかにきいたんだ。
「だいじょうぶだよ」というかぜのうたを。

きんぎょが にげた

五味太郎 作 福音館書店



きんぎょばちから飛びだした一匹のきんぎょ。
ページをめくるごとににげていく。
ことばのくり返しがリズムのようで、絵の中のきんぎょをさがす楽しさがいっぱい。

だれだか わかるかい？ むしのかお

今森光彦 文／写真 福音館書店



みんな自分のかおは、まいにちみているとおもうけれど…。虫のかおってよくみたことある？
ちょっとこわそうだけれど、いがいとかわいい虫がいるかも…。

ピーターのいす

エズラ=ジャック=キーツ 作、きじまはじめ 訳 偕成社



ピーターがまだ小さかったときにすわっていた“いす”。
妹のためにピンクにぬりかえられそうになります。
いすを守るのに必死のピーター。でも、自分のおしりが入らないことに気づきます。

はなをくんくん

ルース・クラウス 文、マーク・シーモント 絵、きじまはじめ 訳 福音館書店



森の生きものたちが、冬の間、眠りつづけていた。
そんなある日、何だか変だよ。
みんな目をさましていっせいに“はなをくんくん”
飛びだして見つけたものは？
期待と想像力がふくらんでゆく。

かしこいビル

ウィリアム・ニコルソン 作、まつおかきょうこ 訳
よしだしんいち 訳 ペンギン社



おばさんの家に招待されたメリー。だ
いじなものをトランクにつめてさあ
出発。
おいてきぼりをくらった人形のビル。
さてどうする？

きゅうりさんあぶないよ

スズキコージ 作 福音館書店



あたまに星を付けたきゅうりさんが
歩いていると、出会う人がそれぞれに
“あぶないよ ねずみがいるから”と
いって、何かしら道具をきゅうりさん
にもたせる。
そして、ねずみに出会ったとき、きゅう
りさんは…？

いたずらこねこ

バーナディン・クック 文、レミイ・シャーリップ 絵
まさきるりこ 訳 福音館書店



好奇心旺盛なこねこが、ある日かめと
鉢合わせ。こねこが手をだす。かめは
瞬時にこうらの中へ身をかくす。こね
こは…!?
軟らかい鉛筆画で、互いのやりとりが
コミカルに描かれています。

めっきらもっきらどおんどん

長谷川摂子 作、ふりやなな 画 福音館書店



「ちんぷくまんぷく…めっきらもっ
きらどおんどん」
大声ででたらめの歌をうたったら、木
のあなにすいこまれて、ついたところは
夜の山。
そこでかたが出会ったものは…。